

平成 28 年度教育指導ミーティング詳細

[1] 運輸安全マネジメント制度とは(乗務員に再確認)

経営トップから現場まで、一丸となつての安全管理を構築・改善することにより、輸送の安全を向上させることにある。

自主的かつ積極的な輸送安全の取り組みを推進し、構築した安全管理体制を PDCA サイクルにより継続的に改善し、安全の向上を図ることが求められている。

よって、当社も計画的・継続的に教育指導を行っておりますが、今一度この制度を理解し、社員が一丸となつての安全の向上を図ってまいりましょう。

※PDCA(plan 計画の策定・do 実行・check チェック・act 改善実行)

[2] 今期、ドラレコ映像・DVD教材による指導講習の検証

第一回 平成 28 年 4 月 19 日

●トラックと乗用車の事故の映像に基づく指導

映像から視る事故の要因と、防止策「左方向より一時停止をせずに飛び出してきた乗用車と優先道路を通行中のトラックとの事故」の映像より、「信号のない交差点において、飛び出してくるかもしれないと常に意識をもって運転をすることが、事故防止につながる」と確認しました。

第二回 平成 28 年 7 月 5 日

●重大事故に基づくドライブレコーダーの映像(6/12 発生の人身事故の映像)

映像から視る事故の要因と、防止策「トンネル内の人身事故」の映像より、「思い込み(大丈夫だろう)の運転はせず、もしかしたらという気持ちをもって運転し、漫然運転の防止を確認しました。

第三回 平成 28 年 9 月 7 日・9 月 9 日

●ヒアリ・ハット事例(DVD)の映像

「危険を予測した運転方法とは?」に対し、慣れ・過信による手抜き運転を防止し、常に緊張感と集中力をもって運転する」ことを確認しました。

第四回 平成 28 年 12 月 20 日

●冬季の危険を知る(DVD)の映像

「雪道は、予想以上に滑ることを念頭に置き、安全な速度で運転をする。また急のつく操作はしない」ことを確認した。

第五回 平成 29 年 3 月 16 日・3 月 17 日

●先を眺む運転術(DVD)の映像

「見えないけれど危険が潜んでいるかもしれないと考えて運転」をする」ことを確認しました。

以上